

私はクラブを引退するのが夏休みだったので、クラブをしているときから、周りの子から出遅れているという焦りがありました。しかし、クラブを引退してからすぐ勉強へと気持ちを切り替えることができませんでした。2学期に入り推薦入試を受けると決めたので、英語の勉強と面接練習をたくさんしました。英語は単語帳で単語をたくさん覚え、分からないところは質問に行きました。英語科の先生方には毎日のようにアドバイスをいただき大変お世話になりました。面接練習は10人以上の先生方をお願いしました。練習すればするほど出来が良くなりました。推薦の時期は看護系大学の推薦入試の時期と同じ時期だったので、友達同士で応援しあい、アドバイスしあったりしました。一緒に練習した友達は全員合格し、そのことが嬉しい反面、自分がダメだったらという焦りも大きくなりました。推薦入試当日はとても緊張し、あれほど練習を重ねたのに手ごたえ無く終わってしまいました。結果は不合格。悔しくていっぱい泣きました。でもこの悔しさを一般入試まで頑張る力に変えようと気持ちを切り替えました。

ずっと推薦入試への準備をしてきたのでセンター試験への勉強が遅れていた分、少し焦りもありましたが、展開別授業になり周りがセンター試験を受験する友人ばかりの教室でいると、しっかりやらないといけないと気が引き締まりました。点数が伸びない教科はやり直す問題が増える一方で、やる気をなくす時もありました。先生や友達に教えていただき、毎日放課後教室に残って勉強を頑張りました。冬休み中に勉強した教科の点数が、冬休み明けに伸びていたことで少し自信がつき、解くことができる問題が増えると楽しかったです。センター試験当日は、分からず焦ってしまったところもありましたが、確実に解くことのできる問題を優先して解きました。

センター試験が終わってから二次試験までの約1ヵ月間は本当にあっという間だったというのが実感です。勉強が思い通りにはかどらず、試験前日は不安だらけになりました。

当日、一瞬で終わったような感じがしました。しかし、今までの頑張りを無駄にしたくない、もう悔しい思いをしたくないという強い気持ちをもって落ち着いてやれたと思います。

結果は合格でした。合格発表までの10日間はとても長く、不安な日々でした。これまでつらい思いもたくさん経験したので、合格がわかったときは本当に心から嬉しかったです。

両親や先生方、友人も自分のことのように喜んでくれて、今まで頑張ってきたよかったと心から思いました。

大学を目指す人の多くは高校2年の秋から受験勉強を始めるといいますが、そんなに簡単にできることはありません。僕も3年の総体が終わってからやっと本格的にやり始めました。やり始めてからはいつも「もっと早くから始めておけば良かったのに～」と思っていました。以下、僕が行った勉強について少し書きます。

まず、国語、数学、そして英語長文問題集をやり、疲れてきたら理科(生物)、地歴公民、英単語の暗記物をするというやり方が良いと思います。ゲームなどは少しなら気分転換になる程度にはやってもいいと思います。我慢できるならそれに越したことはありません。

参考書や問題集では、

国語：現代文は河合塾などのセンター形式の問題集をやる。古文は単語と慣れでこなせる。

数学：黄色チャートをひたすらやる。

英語：センター形式の問題集をやり、分からない単語等があれば辞書で調べる。

地歴公民：教科書と教科書会社が出している参考書をやる。

理科：シグマの問題集をやる。

センター対策は、とにかくセンター形式の問題に慣れることが大切ですし、二次対策は自分の得意な科目が使える大学・学部・学科を選べば良いと思います。

受験勉強のスケジュールでは、

2年の春休み：志望校が決まっていないと思うが、英語はどこの入試でも必要なので、英語は取り組み始めるのが良いと思います。

3年の夏休み：この夏休みが「決め手」になります。苦手科目を重点的にやるとともに、地歴公民は一回は通っておきたいものです。

3年の冬休み：数学は黄色チャート、地歴公民と理科(生物)は普通の問題集、英語国語はセンター形式の問題をひたすらやる。

和歌山大学の二次テストでは、英語はセンターテストレベルなので、とりあえずセンターテストを目標にやれば良い。数学の問題は難しいが、それは受験生みんなと同じなので解けるところをとにかく解いていって点数を稼ぐようにすれば良いと思います。

私が和歌山大学システム工学部環境システム学科を志望した理由は、小学校6年の時に知り合った一級建築士の方から勧められたからということと自分の夢が一致したからです。それにしても、合格通知が家に届いてからもうすぐ1カ月ですか。早いですね。当時はまさか、面接本番でおかしな発言をした自分が合格するとは思っていませんでした。しかし、合格したということは今までの勉強方法がよかったのだろうと思うので、勉強方法や実際の面接で感じたことを話したいと思います。

勉強方法はとにかく自力勉強でした。各教科を大まかなテーマに分け、時間配分もそれぞれ決め、1週間サイクルに間違った所をやり直ししながら進めていきました。その時、1つの教科に多くの時間をかけ過ぎると、集中力が低下し仕事能率が悪くなるので、こまめに教科を変えながらするのがお勧めです。効率のよい学習法は人それぞれなので一概には言えませんが、ただ1つの教科に偏らない方がいいのは確かなことです。そして、分からない所はどんどん学校の先生に質問してください。また、最近では塾に行っている人が多いと思いますが、塾に行っても行かされているというような状態では無意味。「自主的に」というのが本当に大事です。教科の参考書はと言いますと、どの教科も赤本を中心に勉強していきました。しかし、やはり基礎が一番大切なので、数学や理科に関してはさまざまな形式の問題集を何冊も購入し、コツコツ進めていきました。「はじめからていねいに」という参考書がお勧めです。

2年生の春休みくらいから受験勉強を始めて行ったのですが、定期テストや部活動にも力を入れていたので、何度か失敗に終わってしまいましたが何とか頑張りました。夏休みや冬休みの取り組みも非常に大切ですが、本当に部活動に力を入れていたので、失敗したのは事実でした。しかし、夏休み中の英語のサテラインでは英文の見方も変わったりし、収穫もたくさんありました。

健康管理も忘れないでくださいね。睡眠場所は自分が落ち着けるような所ならどこでもいい。たとえ、コタツでも車でも宇宙でも。(笑)気分転換をうまく使って健康維持できるのが自然でベストだと思う。

最後に、面接について一言お話ししましょう。学校の先生に面接指導をしていただいたのは当たり前のことですが、実際の和歌山大学の面接で分かったことがあります。面接というものは、人間の表面上の振る舞いや知識よりも、内面的な人間的魅力といったものを本当に見ているのだということです。

センター試験を終えてまず思ったことは、1日目の試験が全て終わった後に自己採点をしてはいけないというのは本当だったということです。もし点数が良かったなら明日も頑張ろうと励みになったと思いますが、僕の場合は点数が悪かったのでかなり落ち込みました。2日目へのプレッシャーもかなりのものになってしまい、センター試験の結果は満足のいくものになりませんでした。

僕はセンター試験を使う和歌山大学教育学部の推薦入試を受けることにしました。推薦を受けて本当に良かったと思います。一般入試であれば絶望的だったと思います。推薦では面接や調査書の配点が過半数を超えるので、なんとかなるという希望も持てました。面接で部活動について十分に話すこともでき、3年間クラブを続けてきて良かったと心底思いました。

僕は1、2年生の間に日ごろから勉強をするという習慣をつけられていなかったのですが、部活引退後も1～2カ月の間は毎日の勉強に集中できていなかったと思います。クラブをしていた時も日ごろから少しずつでも勉強して習慣にしておけば良かったと思いました。受験勉強をしていると途中で嫌になってくる時もありましたが、途中で投げ出さず合格に向かって根気よく頑張ってください。

大学では勉強やサークル活動を積極的に行い楽しい学生生活を送りたいと思います。

私が高校生活で一番大変だったことは、部活と勉強の両立でした。部活はほとんど休みがなく、帰宅してからも机に向かう気力も体力もありませんでした。家庭の事情で塾にも行けなかったため、部活を辞めようかと何度も迷いました。しかし、今は続けてきて良かったと心の底から思えます。「時間は自分で作るものだ」と思います。

1年生の頃からどうしても、県内唯一の看護大学を志望校にし、そこに推薦入試で合格したかったのですが、授業は先生の言葉を聞き漏らさないように真剣に受けました。少し意識するだけでポイントも分かるようになるし、定期テストの得点にも結びつきます。

しかし、やるが多すぎて頭がパニックになることもありましたが、そんなときは一つ一つ目の前のことを片付けていくように考えを整理しました。私は、一つできるごとに心の中で「よしできた！私すごい！」と自分を褒めることでモチベーションを上げていきました。よかったら試してみてください。

具体的な受験勉強では、数学は同じ問題集を何度も通ること、理科は中学校の教科書と問題集をすること、小論文は何度も先生に添削をしていただきました。また、過去問は、制限時間内で解くようにし、間違った問題は必ず訂正をして確実にモノにしていきました。

また、夏休みには学校での補習に参加し、自習室を利用し自習に励みました。

私は、受験勉強をしていく中での一番の敵は自分だと思います。だらだらしたり、勉強なんかしたくないと言ってみたり、弱音を吐いたりする自分との勝つか負けるかの戦いだと思います。是非、自分に活を入れて、弱い自分を打ち負かして下さい。

やらされているとばかり思っても学力は上がらないと思います。私は、受験勉強を通して、周りの多くの人の温かい支えがあるからこそ頑張ることができるのだと気付きました。振り返ってみると感謝してもしきれないほどです。頑張りには、必ず誰かが見守ってくれています。失敗をおそれず、突き進んで下さい。そして、何よりも大切なのは気持ちの持ちようだと思います。

一度きりの高校生活、今を楽しんで下さい。

私はまず目標を持つことが大切だと思います。私が志望校を決定したのは3年生になってからでした。それまでは、これといって目標がなかったのでやる気もおこらず定期考査の勉強をするぐらいしか勉強をしていませんでした。しかし、この大学に進学するという目標を持ち始めてからは、やる気が出てきて本格的な受験勉強に取り組み始めました。また、この大学の指定校推薦の枠が耐久高校にあると知ってからは、評定を少しでも上げようと今まで以上に定期考査の勉強を頑張るようになりました。オープンキャンパスに参加することで、この大学で学びたいという気持ちも増し、モチベーションもかなりのものになりました。定期考査の勉強を頑張ったおかげで校内選考に通ることができ、推薦枠をもらうことができました。そして、無事合格することができました。

私は目標を持てたことで将来について具体的に考えることができ、やりたいことも見つけられたと思います。その結果、やる気も一気に出てきました。だから、目標は少しでも早く見つけられたらいいと思います。また、オープンキャンパスには積極的に参加すべきです。実際に大学に行き、自分の目で見ることで大学の良いところや悪いところが分かります。モチベーションもきっと上がるはずです。

もし、まだ具体的な目標が決まっていなくても、とりあえず定期考査の勉強は頑張って下さい。受験にも役立つし、進学したい大学に指定校推薦の枠があったとしても評定が足りなかったら校内選考を受けることすらできません。評定が高ければ高いほど受かる確率も上がると思います。だから、少しでも評定平均値が良くなるように定期考査の勉強を頑張って欲しいと思います。

私は、夏休み頃から問題集を買い、補習に行ったり耐久舎に行ったりして、家でも1日8時間程度、本格的に受験勉強を始めました。その勉強方法を教科ごとに紹介します。

国語は語彙問題（漢字、ことわざ、慣用句など）から始め、文章問題も勉強した。私は読み解くことが苦手だったので、時間を決めてだんだん早くできるようにしていきました。数学は数Ⅰだけだったので、1年生の時の問題集や総数 α のワークを使いました。分からない時は必ず先生に質問しました。英語は単語を覚えるだけでなく、文章を読み解く練習をしました。分からない単語はすぐ調べ、発音やアクセントにも注意をしました。生物はとにかくセミナーをしました。つまづいた時は先生。補習などでもしっかり勉強しました。小論文は夏休みの課題が終わったら自分の問題集からテーマを抜き出し、書いては書き直しをしました。解答例を読むだけでなく写したり、時間は本番と同じ時間にしたり、時間より早く終わるように書く練習をしたり、色々工夫をしました。また、1人の先生にOKをもらったら、他の先生にも同じ問題を添削してもらいました。1日1枚のペースで先生に見てもらいました。面接練習は受験1カ月前から始め、先生だけでなく友人や家族にも質問をしてもらいました。とにかく何人もの先生（特に話をしたことのない先生）にお願いし、面接に慣れていきました。あと、校長先生にもしっかり指導してもらいました。自分1人でも工夫をして頑張りました。例えば、自分で自分の面接を録音して聞きなおしたり、鏡を見てハキハキ笑顔で話せているか。また、ルーズリーフに書いたことの丸暗記にならないように新聞をしっかり読み、単語やフレーズをつなげて言えるようにしたりしました。面接練習で新聞を読む習慣がついたことは小論文にも十分役立ちました。

これまでは、学習面での大切にしてきたことや実践した内容を述べましたが、私生活の面でも大切にしていることがあります。それは、睡眠時間の確保です。1日6～7時間は必ず寝て、とにかく疲れを残さないようにしました。看護師にとって健康でいることは大変なので、学校を無遅刻、無欠席であれば自己アピールにもなるからです。

就職といえば一番早く決まると思っていたけれど、全然違いました。どういう事業所から求人が来るか分からないし、求人があっても校内選考を通り、その後その会社の試験を合格しなければいけないので大変でした。

最初志望したところがありましたが、校内選考に落ちてしまい、そのときは「本当に就職できるのかな～？もっと頑張っておけばよかった」とか色々なことを思いました。

それからは、少しでも就職するのに有利になるために簿記の勉強をしました。普段学校で勉強することと全く別のことなのですごく難しかったです。簿記の検定試験には落ちたけれど次の試験も受けようと思っています。それと一般常識の参考書も買って勉強しました。

その後、就職説明会に行って、希望していた事務の仕事を見つけて、その会社の説明を伺い「ここに行きたい」と思い志望しました。就職説明会には高校生がたくさん来ていてびっくりしましたが、できるだけハキハキと話をするように心がけました。

就職試験の日程が分かったのが一週間前でしたが、先生方に頼んで面接の練習を繰り返し行いました。

本番の就職試験の面接では、度胸を決めて、プラスになることをたくさん話そうと思っていましたが、どんどん質問されているうちに何を話をすれば良いのか分からなくなって正直に話をしたら笑ってくれました。知らないところに一人で行くのは心細かったのですが、夢中になって問題を解いていくうちに緊張していたのも忘れてしまいました。

採用通知が来たときはとても嬉しかったです。でも、内定をいただいてからも色々な勉強をしなければいけないし、何より心の準備が必要だと思いました。社会人になるということについて、不安でいっぱいですが、心のどこかにちょっとわくわくしている自分もいます。